



市立札幌病院小児科	佐野 仁美	
天使病院小児科	奥原 宏治	
王子総合病院小児科	小林 徳雄	中村 明枝
札幌厚生病院小児科	高橋 美智子	
市立根室病院小児科	竹内 亮	石津 桂
KKR 札幌医療センター	小林 一郎	

<研究協力機関>

(情報の提供のみを行う機関)

広域紋別病院 小児科	松尾 公美浩	
富良野協会病院 小児科	角谷 不二雄	
市立稚内病院 小児科	石岡 透	
中村記念愛成病院 小児科	立花 幸晃	
製鉄記念室蘭病院小児科	斉藤 淳人	鎌崎 穂高
市立函館病院 小児科	酒井 好幸	鎌崎 穂高
苫小牧市立病院 小児科	小原 敏生	木原 美奈子
NTT 東日本札幌病院 小児科	森 俊彦	
さっぽろ小児内分泌クリニック	母坪 智行	
北円山杜のこどもクリニック	石津 桂	
市立旭川病院小児科	中嶋 雅秀	
帯広協会病院小児科	青柳 勇人	田島 敏広
北見赤十字病院小児科	佐藤 智信	伊藤 善也
JCHO 北海道病院	椿 淳子	
市立千歳市民病院小児科	内藤 広行	中村 明枝
砂川市立病院 小児科	菊地 成佳	石井 玲
町立別海病院 小児科	横澤 正人	
余市協会病院 小児科	岡田 善郎	
のえる小児科	瀬川 雅史	
小樽協会病院 小児科	辰巳 正純	鎌崎 穂高
勤医協札幌病院 小児科	岡田 靖	

研究の意義、目的	<p>北海道地域は日本の高緯度地域にあり、紫外線量が少ないことから、ビタミンD欠乏性くる病の発症率が高いことが懸念されます。また、母乳栄養などの関連性も指摘されています。そこで、最近5年間(2015年 - 2019年)の北海道におけるビタミンD欠乏性くる病の発症頻度および発症発症要因を診療カルテから解析して、北海道地域でのビタミンD欠乏性くる病の地域性と特徴を明らかにします。</p>
研究の方法	<p>調査対象病院にビタミンD欠乏症またはビタミンD欠乏性くる病の診療情報を聞く調査票を送付し、カルテ診療記録から記載していただき、その調査票を旭川医科大学小児科で集積し、結果を解析します。</p>
その他	<p>当研究は、公益財団法人である成長科学協会の研究費から研究経費を捻出しますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と公益財団法人との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  研究責任者  〒078-8510  旭川医科大学小児科 棚橋 祐典  TEL：0166-65-2111（内線2481）， FAX：0166-68-2489  E-mail：<a href="mailto:yutanaha@asahikawa-med.ac.jp">yutanaha@asahikawa-med.ac.jp</a></p> <p>研究代表者：  旭川医科大学小児科学講座 棚橋 祐典</p>